

1. 便利で快適なまちづくり

1. 道路交通体系の整備

岱明玉名線

事業費・・・600,000千円

担当課・・・土木課



岱明玉名線（一部完成）

新市域の骨格を形成する幹線道路は、東西方向に走る国道208号及び国道501号を位置づけ、岱明玉名線を南北方向の幹線道路として整備しています。

これにより、主要な交通結節点を結ぶアクセス道路として、物流及び交通の活性化に寄与するよう努めます。

現在、国道501号から県道長洲玉名線までの2,600mが完成し供用開始をしているところであり、残りの国道208号線までの1,100mを平成27年度完成予定で事業を進めているところです。

小浜繁根木線

事業費・・・12,000千円

担当課・・・土木課

玉名市の中心市街地と豊水・大浜地区及び松木・六田地区を結ぶ重要な幹線道路となるこの区間は、幅員が狭くセンターラインもないために、離合も困難であり、JR踏切周辺が交通渋滞を起こしている状況です。

そこで、地域住民の利便性を向上し、広域的には新幹線新玉名駅へのアクセス道路としての役割を果たすため、道路を拡幅し歩道を設け、交通渋滞緩和と歩行者の安全を確保します。

事業年度 H23～H27年度

総事業費 500,000千円



県営道路事業負担金

負担金・・・7,500千円

担当課・・・土木課



県道熊本玉名線

この事業は、毎年市からの要望を基に県が計画的に行う事業で、県道に関する道路の拡幅、側溝の改良、舗装を新しくするなど、利便性の向上と安全の確保を目的に改善を行う事業であり、その事業に対する費用の一部を市から負担しています。

1. 便利で快適なまちづくり

都市計画道路の整備

事業費・・・30,011千円

担当課・・・都市計画課



立願寺横町線（一部完成）

都市計画道路は、市民のみなさんが安全で便利が良く、快適に暮らせるようにするための、将来のまちづくりの基盤となるものです。このため、時代にふさわしい見直しを図りながら、計画的な整備を進めています。

【主な事業】

立願寺横町線：期間 H18～H24 年度

九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴い、九州新幹線新玉名駅から温泉街、公共文化施設集積ゾーン、市街地、国道 208 号線へアクセスする道路を整備します。

都市計画区域見直し及びマスタープラン策定事業

事業費・・・14,878千円

担当課・・・都市計画課

玉名市の都市計画区域(案)

現在の玉名市では、玉名都市計画区域と長洲都市計画区域の岱明地区の2つに分かれていますので、H23年度末までに玉名市大浜町大栄地区を加え、一つの玉名都市計画区域に統合の予定です。

玉名市全域を一体の都市として、誰もが暮らしやすく、快適なまちづくりを計画的に進めるために都市計画基礎調査を行い、新都市計画区域内において都市づくりの将来ビジョンを確立し、都市計画の指針として具体的に明示し、整備等の方針を明らかにするため都市計画マスタープランの策定を行います。

H23 基礎調査分析、住民意向調査

H24 全体構想の検討・策定

H25 地区別構想の検討・策定

都市計画マスタープランの決定



県営農免道路整備事業負担金

負担金・・・3,000千円

担当課・・・農林水産政策課



北牟田尾田農免道路

熊本県が行う農業農村整備事業の事業費の10%を玉名市が負担します。

この事業により農道を整備し、広域流通施設の機能を発揮させ（流通コストの削減及び高品質農産物の生産による生産性の向上）、地域農業を活性化させる事業です。

1. 便利で快適なまちづくり

生活道路網の整備

事業費・・・473,066千円

道路整備費

・・・382,759千円

道路維持管理費

・・・90,307千円

担当課・・・土木課

生活道路網の整備では、市道の拡幅工事を行ったり、舗装を新しくするなど、市民生活に最も密着した生活道路を計画的に整備し、市民の利便性の向上と安全の確保に努めています。

道路維持では、市道の安全を守り、快適に利用できるよう、市内のパトロールを行い、破損箇所等の補修・除草(一部)、市道に付随する街路樹・街路灯・地下道などの維持管理を行っています。また、地元住民で、里道・水路を整備、補修される際必要となる機械借上げ、原材料の支給を要綱に基づき行っています。



○拡幅後舗装及び側溝を新しくした市道です。



橋りょう整備事業

事業費・・・41,114千円

担当課・・・土木課

橋りょう整備事業とは、老朽化した橋りょうの長寿命化や耐久性の向上のため、構造物の劣化の予防や補修等を行う事業です。これにより、橋りょうの安全性を確保し、通行車両や歩行者・自転車等が安心して通行できるように努めます。



1. 便利で快適なまちづくり

福祉送迎バス事業

事業費・・・6,039千円

担当課・・・高齢介護課

旧玉名市で運行されていた福祉センターへの送迎に加え、合併後 29 人乗りのバスを購入し、平成 19 年 4 月から旧玉名市、旧 3 町の市民(高齢者)の交流を図るため、福祉センターから岱明、横島、天水の温泉施設への運行を開始しました。

福祉バスは、これまで自家用車や公共機関の利用が困難な高齢者を、温泉施設に通うことができるようにすることにより、地域間の交流、生きがい作り、健康増進につなげることを目的としています。

現在は、各地区と福祉センター、福祉センターと草枕てんすいなどを往復する 14 コースを運行しています。



各温泉施設を結ぶ福祉バス

地域の公共交通の確保

事業費・・・57,967千円

担当課・・・地域振興課



日常生活に不可欠な路線バス

(地方バス)

住民の移動手段として必要不可欠な公共交通としてバス事業者に補助金を交付することで、路線バスを運行し、地域の生活交通の確保や福祉の向上を図ります。

なお、九州新幹線全線開業に合わせ、新玉名駅への乗り入れ、玉名温泉街のバス停新設、北稜高校や玉名高校方面への路線変更などを実施しました。

・地方バス路線維持費等補助金 55,938 千円

(みかんタクシー)

玉名市天水町及び熊本市河内町において、路線バスの廃止に伴い、他に代替可能な公共交通機関がない地域の生活交通の確保を図ることを目的に、事前予約制の乗合タクシーを運行しています。

・天水・河内みかんタクシー運行補助金 2,029 千円

3. 魅力ある住環境の整備

公営住宅改修工事等

事業費・・・239,680千円

担当課・・・住宅課

糠峯団地 14~17 号棟、天満町団地 1~2 号棟、柘木団地 1~3、5 号棟について、経過年数と共に老朽化し、剥離、ひび割れ、爆裂等による劣化した外壁の改修及び屋上等の防水工事を行います。

また、馬場原団地については、建築後 39 年を経過し老朽化した木造平屋建てで、全ての入居者が退去するにあたり解体します。

現在、市営住宅は 31 団地 1,208 戸を管理しています。この中には大倉・一本松団地等昭和 30 年から 50 年代に建てられた住宅が全体の約 8 割を占めており、劣化や故障等に伴う修繕が必要となっています。



糠峯団地



天満町団地



柘木団地



馬場原団地

1. 便利で快適なまちづくり

定住化促進事業

事業費・・・12,392千円

担当課・・・地域振興課

(定住促進補助金)

玉名市への移住者の増加を図るため、玉名市外から玉名市内に住宅を新築又は購入し移住される方に対して5年間で100万円の補助を行います。

さらに、住宅を購入された際にリフォームが必要な場合や、移住後に新幹線を利用して通勤される場合は、補助を加算します。

・定住促進補助金 10,300千円

(定住相談ブースの出展)

定住の促進は、「玉名市の魅力を高め、住みたいと思わせる」ことが基本であり、その上で全国に向けて玉名市の魅力を発信しながら定住へと結び付ける必要があります。

そこで、大阪や福岡の大都市圏において開催される定住関係のフェアに相談ブースを出展し、定住希望者へ直接情報を提供します。

・定住相談事業 292千円

新幹線でいってきま〜す

家族の顔が毎日見れるのが一番!

ひとり暮らしより**断然おトク!**

ゆっくり出来て**快適**だし、**安全**だから家族に心配かけずにすむし。

時間が正確だし、博多まで**最速33分**速い!

だから、家族も安心!
新幹線に乗って通勤・通学!!

新幹線エクセルパス

●この新幹線パスは、新幹線を利用する際の乗車料金を削減するにのみならず、
●通勤・通学に利用する際の乗車料金を削減するにのみならず、
●これは、おトクなだけでなく、おトクな。

JR九州

新幹線通勤定期券に補助する制度も導入

高齢者と子どものふれあい事業

事業費・・・2,759千円

担当課・・・高齢介護課



高齢者と子どもたちの交流の場となっている
一本松団地ふれあい交流館

現在、高齢化に伴う高齢者の生きがいづくりや、隣人関係の希薄化による高齢者の自宅引きこもりが危惧され、その対策が課題となっています。

一方で、少子化により兄弟の少ない子どもたちが増加しており、テレビやゲームなど一人遊びが主流で、ほとんどの子どもたちは昔遊びを知りません。

このような現状から、地域の高齢者が子どもたちに本の読み聞かせをしたり、高齢者と子どもたち合同での料理やお菓子作り教室、クリスマス会、楽しい昔話を伝える交流会などを開催することは大いに意義があります。

一本松団地ふれあい交流館では、子どもと高齢者との世代交流活動を地域ぐるみで推進し、高齢者の生きがいづくりを支援するとともに、子どもの健全育成を図ることを目的として、高齢者と子供のふれあい事業を実施しています。

交流館には、業務を受託する市社会福祉協議会の指導員2人が交代で日曜日、水曜日、祝日を除く日の午前10時から午後5時まで常駐しています。

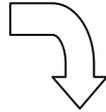
1. 便利で快適なまちづくり

ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業
事業費・・・4,000千円

担当課・・・住宅課



着工前



しゅん工

高齢者や障害者の方をはじめ誰もが円滑に利用できる建築物の整備を促進するために、民間の事業者の方が、ユニバーサルデザイン計画書(誰もが利用しやすい建物となるように、すべての人に簡単・快適・安全などの基本的な視点について、施設整備の考え方や具体的な整備内容を記載した計画書)に基づき、国のバリアフリー法や熊本県のやさしいまちづくり条例に定められた、玉名市内の不特定多数の人が利用する建物を改修する場合に、補助対象となる経費の2/3を交付します。

なお、限度額は400万円で、建物の用途によっては補助の対象とならないものもあります。

4. 公園・緑地等の整備

公園管理事業

事業費・・・74,789千円

担当課・・・都市計画課
土木課

花しょうぶが咲く裏川水際緑地

玉名市には、蛇ヶ谷公園や桃田運動公園、岱明中央公園、6月になると花しょうぶが咲く裏川水際緑地、山の上展望公園、実山公園、それぞれの地区に配置されている街区公園などがあります。

市民のみなさんが、公園を憩いの場として、また、レクリエーションやコミュニティ活動の場として安全・安心に利用できるように、日常の管理や遊具施設の修繕などを行っています。



山の上展望公園ビッグジャングルジム



農村景観が一望できる実山公園

1. 便利で快適なまちづくり

公園整備事業

事業費・・・33,498千円

担当課・・・都市計画課



本事業は、老朽化した都市公園の施設や園路を再整備し、公園利用者の安全を確保すると共に利用促進を図るものです。
都市公園のバリアフリー化及び長寿命化計画に照らした施設の改築・更新を行うものです。

- 裏川水際緑地公園(休養施設改修工事)
- 岱明中央公園(テニスコート人工芝等)

改修予定の岱明中央公園(テニスコート)

花の都づくり推進費

事業費・・・6,701千円

担当課・・・都市計画課

季節の花々を、丹精こめて種から育てています。育てた花は、菊池川河川敷駐車場・蛇ヶ谷公園・桃田運動公園・裏川水際緑地・市役所庁舎内の花壇へ植え付けています。

また、まちづくり委員会や小中学校などの、花のまちづくり活動をしている団体に、種・土・肥料などの材料支給をして活動のお手伝いをしています。育てられた花は校区ごとの花壇に植えられて、玉名のまちを彩ります。冬から春にかけてはパンジーやハボタン、初夏から秋にかけてはマリーゴールドやサルビアの花がきれいです。これからも、さらなる「花の都玉名」づくりを進めていきます。



新玉名駅前の花壇



校区ごとにある花づくりのハウス



まちづくり委員会手づくりの花壇

花づくり会補助金

事業費・・・600千円

担当課・・・横島市民福祉課

「花づくり生き生きハウス」を利用し四季折々の花を栽培することにより、市民の健康づくりや環境美化に対する関心を高め、心豊かな住みよい生活環境づくりと高齢者の引きこもりを防ぐための介護予防の一環として、花いっぱい運動を推進しています。



市内各地がきれいな花で飾られます。

1. 便利で快適なまちづくり

花苗栽培事業

事業費・・・2,500千円

担当課・・・天水総務振興課

花工房てんすいでは、「花の館」近くの育苗ハウスで苗を育て、道路沿いや、公共施設、ポケットパークなどへ季節の花を植栽することを活動の中心に置いて、花いっぱい運動を展開しています。また、小中学校の新入生や独り暮らしのお年寄りなどに鉢植えをプレゼントしたり、各種イベント会場を花で飾るなど様々な活動をしています。

草枕温泉入り口前の花



花苗配布用準備の様子

5. 情報・通信基盤の整備

情報・通信ネットワークの整備、情報サービスの充実

事業費・・・152,955千円

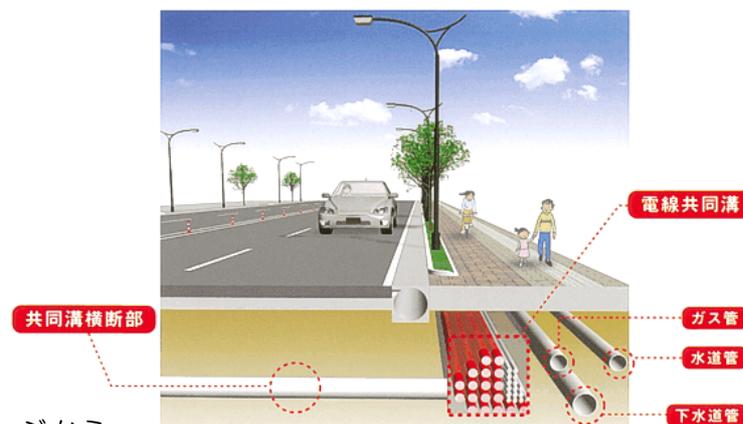
担当課・・・情報管理課
秘書課

住民票、印鑑登録、市民税や固定資産税などの各種情報、福祉情報等様々な情報を電算処理により管理しています。その電算システム及び機器の保守を行い、システムの安定稼働及び市民サービスの向上を目指します。

また、国道208号の玉名市高瀬から玉名市中までの区間で、国土交通省の事業として電線共同溝事業が実施されました。電線共同溝とは、道路上の電力線や通信線を地中化するために、地下に敷設される管路のことです。電力線や通信線を地中化することによって電柱が撤去されるため、都市景観の向上や歩道の安全性の向上が図られます。さらに、地中化することにより、台風などの災害の影響を受けにくくなるため、断線などの被害が少なくなります。玉名市もこの区間に、市の各施設や小中学校を相互に接続するための光ファイバケーブルを敷設していますので、この事業に共同参画し、光ファイバケーブルの地中化を進めていきます。

その他、本市の行政情報や地域情報を広く内外に発信するため、ホームページの保守事業等を行います。

電線共同溝イメージ図



～国土交通省ホームページから～

地上デジタル放送電波障害対策事業

事業費・・・26,647千円

担当課・・・生活安全課

現在放送されている地上アナログ放送は、平成23年7月に地上デジタル放送へ移行します。この地上デジタル放送の受信が地理的に困難な地域「地上デジタル放送難視聴地域」に対して、難視聴の解消の目的で、共同受信施設及び個別受信施設の設置に対して支援を行います。